

カスミサンショウウオが届けられました!

4月18日、御内谷の梅原さんから「サンショウウオを見つけた」という連絡があり、自然観察指導員の桐原真希さんに確認して頂いたところ、カスミサンショウウオの成体との事でした。桐原さんは「御内谷での新たな生息地がわかりました。環境省RDBで、絶滅危惧Ⅱ類(VU)に掲載され、鳥で言えばライチョウやタンチョウと同じくらい絶滅の危機が迫っている生き物です。それが南部町ではまだ各所で繁殖しています。地元の方の情報が町の財産を記録する貴重な手がかりとなります。」と話しました。



全長約10cmで、色は黒味かかった茶色

おいしい匂いに誘われて 「いこい荘」でフェスティバル開催



コロツケいかがですか～!

総合福祉センター「いこい荘」(浅井)で、今年2回目になる催し物が5月14日に開催されました。「輝きときめきフェスティバルinいこい荘」と銘打ち、あいみドームでは、お魚市、焼そば、手作りパン、コロツケ、野菜などの食料品や、陶器市、フリーマーケットなどのお店が並びました。子どもたちのダンスパフォーマンスやグラウンド・ゴルフ大会も行われ、幅広い世代が楽しみました。

また花回廊に向かう県道沿いには、南部中学校美術部が制作した「いこい荘」の新しい看板が設置され、除幕式も行われました。出店されたお店の売上金の一部は東北地方への義援金として送られました。

大 国

「まめなかや」畑における 三世交代事業

5月15日、共同募金の助成を受け「まめなかや畑における三世交代事業」を行いました。今回は第1回目として、約50人の方々により「落花生」の種まきと「さつまいも」苗植えを行いました。

大國地域振興協議会では、大國地区青少年育成会、大國尚寿会と日頃から連携し事業交流を実施していますが、与えられた行事からの脱却が必要ではとの意見もあり、三世代と一緒に汗を流し交流する事業はと考え、日頃よく食べていて特徴のある生育を呈する「落花生」と「さつまいも」を植えることになりました。近年は世代間交流が疎遠になりがちですが、農作物づくりを通じて三世交代交流を図り、触れ合いを深め思い出づける場の提供を目的として行ってきました。



「まめなかや」は方言で「元気ですか」という意味

法 勝 寺

子ども見守り看板設置

5月22日に総務企画部で、西伯小学校PTAの法勝寺地区地域活動部員の皆さんと一緒に、通学路の危険個所に看板を設置しました。

2月に通学路の人目のつかない場所などを確認しており、その中で見守り強化区域を設定しました。地区内では昨年不審者による児童への声かけ事案が発生しています。幸いにも大事には至っていませんが、常日頃から地域の力で子どもたちの安全を守っていくことが必要です。子どもたちの安全を守るため、地域の皆さんのご協力をお願いします。



法勝寺地区内7箇所を設置しました